



令和元年11月7日

工事の品質確保・向上に貢献した下請企業及び技術者を表彰します ～令和元年度函館開発建設部優良工事下請企業表彰について～

函館開発建設部では、令和元年度函館開発建設部優良工事下請企業表彰式を下記のとおり執り行いますので、お知らせいたします。

北海道開発局では、近年工事の専門分業化が進み、工事の品質確保にあたっては、下請企業の果たす役割が拡大していることから、公共工事の品質確保及び下請企業の技術の向上を目的として、優良な工事において品質の確保・向上に貢献した下請負者及び下請負者の技術者を表彰することとしております。

この度、令和元年度に北海道開発局優良工事表彰を受賞した工事を対象として、当該工事の品質確保や向上に特に貢献した下請負者7社及び下請負者の技術者7名を表彰することとしました。

記

- 1 日 時 令和元年11月7日（木）14時00分～
- 2 場 所 函館開発建設部 4階災害対策室（函館市大川町1-27）

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 函館開発建設部
契約課 課長 ^{いがらし}五十嵐 輝 (0138) 42-7525 (内線241)
契約課 課長補佐 ^{ほんだ}本田 光弘 (0138) 42-7525 (内線242)

函館開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/hk/>



令和元年度函館開発建設部優良工事下請企業表彰について

1 はじめに

優良工事下請企業表彰は、公共工事の品質確保及び下請企業の技術の向上を目的として、北海道開発局の優良工事表彰を受賞した工事から、次の各号に該当する工事を施工した下請負者及び下請負者の技術者を表彰するものです。

- (1) 下請負工事金額が3,500万円以上の専門工事業を行う1次下請負者であること
(ただし、1次下請負者がマネジメント主体の場合は、2次下請負者を対象とする)
- (2) 品質確保、向上等に貢献したと認められること

2 令和元年度の表彰について

本年度は、平成30年度に完成した函館開発建設部発注工事において、北海道開発局長表彰を受賞した工事（3件）及び部長表彰を受賞した工事（9件）の合計12件の工事を対象に、上記の条件に該当する下請負者について、

- (ア) 安全管理、工程管理並びに出来形及び品質、出来映え等の施工管理が良好であること
- (イ) 創意工夫、コスト縮減、リサイクル等に積極的であること
- (ウ) 優良な工事の施工に大いに貢献し、他の模範となること

の観点で選考し、うち7件の工事で優良な工事の品質確保・向上に貢献したとして、下請負者7社及び下請負者の技術者7名を表彰することとしました。

3 表彰者一覧

別紙2のとおり。

優良工事下請企業・技術者表彰者一覧

工 事 名		下請企業名・技術者氏名	選考のポイント
道路	一般国道229号 せたな町 美谷道路改良工事 元請負者 株式会社 松本組	有限会社 早坂建設 (技術者) 那須 慎治	元請企業と下請企業の連携での施工計画及び工程計画に基づき、確実な施工や足場内の資材整理、点検等安全対策の実施、及び高い品質管理が行われていたことが認められる。 本工事施工箇所は、せたな町北部の日本海沿岸地域に位置し、特に冬期には強風・波浪により施工困難となるため、施工適期が制約される中、工期短縮のための工夫を行った。また、海岸沿いのコンクリート施工のための鉄筋防錆や養生における品質向上を図る取り組みが確実に実行されており、他の工事の模範となるものである。
道路	函館新外環状道路 函館市 日吉改良工事 元請負者 株式会社 高木組	有限会社 ケイエムティ・コマツ (技術者) 結城 淳二	本工事は、(仮称)日吉IC整備にあたり、隣接する道道及び市道を複数回切り替えながら改良工事を行う困難な条件の工事である。 切り替えにあたり工程調整が必須であるが、元請け業者と積極的に調整を行い、狭隘な箇所でも適切な締固め機械を選定するなど、遅滞のない工程管理に寄与しており、他の下請け業者の模範となるものである。
港湾等	函館港若松地区岸壁上部工その他工事 元請負者 株式会社 森川組	株式会社 ピーエス三菱 (技術者) 岡田 明浩	当該工事で整備した岸壁は、暫定供用開始日が決まっており、限られた期間での施工であった。 下請負者は当該工事の主要工種であるPC桁の製作・架設・横組みを担当し、PC桁の横組工では自動緊張管理システムの活用によりヒューマンエラーの防止、施工精度の向上、作業の効率化を図った。また、施工途上のリスクを予見し事前対策をとることで、据付精度の確保と手戻りを防止した。よって、品質の確保、工期短縮に貢献したと認められる。
道路	一般国道229号 せたな町 茂津多トンネル補修外一連工事 元請負者 株式会社 吉川建設	ライト工業 株式会社 (技術者) 岸田 久徳	元請企業と下請企業の連携での施工計画及び工程計画に基づき、確実な施工や安全対策の実施、及び高い品質管理が行われていたことが認められる。 特に、トンネル内の狭小ヤードにおいても、現道交通を確保しながら裏込注入の施工及び品質管理が確実に実行されていた。また、通常の安全管理に加え、2次下請を含めた独自の安全ハットロールを行う等安全管理意識が高く、他の工事の模範となるものである。
道路	函館新外環状道路 函館市 日吉北改良工事 元請負者 齊藤建設 株式会社	有限会社 瀬川重機 (技術者) 後藤 賢	本工事は、住宅地域に隣接した(仮称)日吉ICの整備のため、大断面切土を行う工事である。 大断面切土に伴う土運搬にあたり、運搬目標量の達成と近隣小中学校の通学路への配慮を両立させるため、運搬時間の変更や、各運搬車両に音声ガイダンスによるヒヤリハット箇所を注意喚起を行うシステムを導入し安全対策に努めるなど、他の下請け業者の模範となるものである。
港湾等	函館港若松地区岸壁ドルフィン部その他工事 元請負者 東洋建設 株式会社	株式会社 濱谷建設 (技術者) 中村 伸二	当該工事で整備した岸壁は、暫定供用開始日が決まっており、実質的に2.5ヶ月と限られた期間での施工であった。 下請負者は、当該工事の鋼管杭打設及び起重機船作業を担当したが、鋼管杭打設の効率化に向けた特殊機材の調達及び施工方法の改善、隣接工事への配慮、隣接工事間の積極的な調整により、品質確保、工期短縮、安全確保に貢献したと認められる。
農業	今金南地区 上鈴金南工区区画整理工事 元請負者 齊藤建設 株式会社	株式会社 近藤組 (技術者) 近藤 裕二	泥炭土における用排水路の基盤及び埋め戻し土の泥濁化は、用排水路の不等沈下につながるため、本工事においては、溝切り作業等により乾燥を促進し泥濁化を防止するとともに、泥炭土施工に精通した施工経験者を従事させ、精度の高い用排水路を仕上げ、出来映えも良好であった。 また、下請独自の安全大会を月例で開催するなど、安全意識の向上を図るとともに、環境対策においても自社所有の低騒音機械を配置するなど、当事業の目的への十分な理解が伺え、他の模範となると認められる。